

アグリ筑西

2015 9月号



県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

関東ブロックで最優秀賞！

7月30日、関東ブロック農村青少年（4H）クラブプロジェクト実績発表会が開催され、下館4Hクラブの杉山氏が、土地利用型作物部門にて優秀賞を獲得しました。本発表会の目的は、関東ブロックの青年農業者が一同に会し、各々の研究発表を通じて農業技術や経営能力の向上を図ることです。

杉山氏の発表「水稲乾田直播栽培の可能性」では、乾田直播による移植時期の労力分散や、作業時間の減少による人件費・燃料費の節減についての取り組みを説明するとともに、クラブ員への技術実演や地域への情報発信を紹介しました。

今後は関東の代表として、全国のプロジェクト実績発表会への参加も予定されるため、普及センターではより一層、発表技術に磨きをかけていけるよう支援を続けていきます。

発表の様子



表彰式



穂肥施用を検討

7月6～9日に、JA北つくばの下館地区で、水稲中期栽培管理講習会が開催されました。4日のうち3日が雨天であったにもかかわらず、多数の稲作農家が出席しました。

普及センターからは、水稲の生育状況、病虫害防除対策、間断かん水の実施、穂肥施用について説明しました。

本年は、4月下旬から5月の平均気温が非常に高く、日照時間も多かったことから、移植時期の違いによる生育差が大きくなりました。また、天候により水稲の生育が旺盛となっているため、基肥一発肥料を施用していても、穂肥施用を検討しなければならない水田も見られることから、草丈や葉色による生育診断、幼穂長による出穂期予測、穂肥施用時期や量について、質疑応答や意見交換を行いました。

米価低迷により経営の厳しさが増す中、普及センターでは、高収量かつ高品質な「コシヒカリ」生産に向けた支援を引き続き行います。



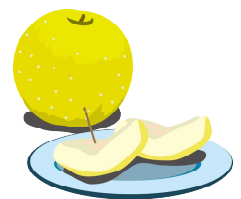
地域の加工品を試食

7月21日、桜川市のきのこ亭において青年農業士11名の出席のもと、全体会が開催されました。今年は初の試みで、バーベキューをしながら経営内容や今取り組んでいることについて語り合いました。この会では、毎年、地元特産品を紹介することを目的に、試食会を行っています。今年は、会員の自家製乾ソバとパン用コムギ『ユメシホウ』を使ったゆずカステラをご紹介し、充実した交流会になりました。



優れた梨生産を目指して

7月24日、下妻市果樹組合連合会が梨立毛品評会を開催しました。当日は果樹連役員12名と普及センター、市役所等関係機関の計17名が参加し、7月13日に開催された第一・第二選果場主催の立毛品評会の上位入賞者10名の圃場を巡回し、審査を行いました。各圃場とも病害虫の発生は少なく肥大も良好で、甲乙つけがたい優れた園地ばかりでした。出席した生産者からは、普段見ることがない他地区の生産者の良い園を見ることができて刺激になったという声が聞かれました。この品評会は3年に1度開催されており、上位入賞者は来年度に開催される県果樹生産力向上共励会梨部門へ出展されることとなっています。



梨のおいしい季節です！

筑西市南西部は日本で最も古い梨の産地のひとつで、下館地区、関城地区は県の銘柄産地にも指定されています。各地区とも、消費者に安全・安心でおいしい梨を提供するため、生産者1人1人が日々梨栽培に勤しんでいます。

梨PR特設ブースでは、梨ができるまでの栽培管理の紹介や、筑西市内で梨を購入できる直売所マップを展示しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



筑西合同庁舎、しもだて地域交流センター「アルテリオ」1階にPR特設ブースを設置しました。

普及員のひとごと…多比良 和生

4月に土浦普及センターから異動で参りました。土浦や園芸研究所では、果樹（梨）の仕事を中心に担当してきました。こちらでは、下妻市の担当として、関係機関と連携して地域の農業発展に取組みますので、よろしく願いいたします。

～編集後記～
実りの秋が近づいてきましたね。忙しい時期が続きますが、体調等を崩さぬようご注意ください(谷口)